

Rapport

2021
Number
115

多摩大学 | 広報誌 |

Vol.115 Contents

多摩大学 2021年度春学期 褒賞者	02-03
〈経営情報学部〉 秋季卒業のつどい	03
学園祭	04
就職セミナー	05
グローバルスタディーズ学部 シンポジウム 2021	06
学内業界研究セミナー	06
「小さな親切」 実行章を受章	07
日経グローバル「大学の地域貢献度調査」で上位ランクイン	07
多摩ブルー・グリーン倶楽部 経営研究交流会 (第2回・第3回)	08



多摩大学 2021 年度春学期 褒賞者

【経営情報学部】2021 年度 春学期 優秀学生賞

- ① 各講義科目において顕著に優れた成績を収めた学生 ② 教育補助 (SA) として著しい功績があった者
 ③ 成績向上が顕著な者 (GPA の向上等を基準) ④ 学業に対する取組が真摯で他の模範となる者 ◎印は、選出理由

科目名	◎	学生氏名
IT コミュニケーション入門	◎	今井 雄基
IT コミュニケーション入門	①	シュウ ソシュウエイ
IT パスポート	①	米澤 珠巳
IT 活用法Ⅰ	①	五十嵐 一香
IT 活用法Ⅰ	①	武井 夕佳
IT 活用法Ⅱ	①	柳萬 真伸
アジア経済論Ⅰ	①	中川 大樹
アントレプレナーシップ論	①	浜崎 峻
English ExpressionⅠ	①	阿部 友美
English ExpressionⅠ	①	松木 章悟
Web デザインⅠ	②	佐藤 哲大
Web デザインⅠ	①	佐野 有美
Web デザインⅠ	①	松川 正輝
Web プログラミング	①	内田 慎吾
韓国ビジネスコミュニケーションⅠ	①	後藤 日花里
韓国語Ⅰ	①	角 裕雅
韓国語Ⅰ	①	高橋 明香音
キャリア・デザインⅠ	②	伊東 真由
キャリア・デザインⅠ	①	尾崎 真由子
キャリア・デザインⅠ	①	辰木 顕子
キャリア・デザインⅠ	①	東良 紗里
キャリア・デザインⅢ	①	田中 千尋
キャリア・デザインⅢ	①	山本 浩太
教育心理学	①	小泉 翔太
教育心理学	①	小林 明日香
業界研究Ⅰ	①	小松 優斗
クリエイティブデザインⅠ	①	小松 優菜
クリエイティブデザインⅠ	①	祖納 大樹
グローバルビジネス入門	①	青山 優衣
グローバルビジネス入門	①	大國 心桜
グローバルビジネス入門	①	徳田 唯香
グローバルビジネス入門	①	根岸 直樹
グローバルヒストリーⅠ	①	中田 栞莉
グローバルヒストリーⅠ	①	青山 優衣
グローバルヒストリーⅠ	①	阿部 友美
グローバルヒストリーⅠ	①	佐藤 陸斗
グローバルヒストリーⅠ	①	柴田 優吾
グローバルヒストリーⅠ	①	武田 葵
グローバルヒストリーⅠ	①	吉實 翼
グローバルヒストリーⅢ	①	佐藤 梨々華
経営と意思決定	①	内田 慎吾
経営学概論	①	佐藤 啓成
経営学概論	①	田中 温人
経営学入門	①	青柳 宇輝
経営学入門	①	渡邊 陸
経営情報論Ⅰ	①	伊豆 隆磨
経営組織	①	茂木 香樹
国際経営入門	①	伊藤 将吾
国際経営入門	④	キム ドンヒョク
国際経済学	①	オウ キョクシン
国際ビジネス論	①	関根 瑠星
サービス産業論	①	佐々口 珠莉
サブカルチャー論	①	高橋 芳
サブカルチャー論	①	長谷部 裕人
産業社会特講 (ビジョン・マネジメント論 2021 春)	①	西井 菜々穂
産業社会特講 (ビジョン・マネジメント論 2021 春)	①	三浦 千優
事業デザイン論Ⅰ	①	高橋 芳
事業構想論Ⅰ	①	天野 由梨
情報と職業	①	伊豆 隆磨

科目名	◎	学生氏名
情報と職業	②	堀井 瞳来
スタディースキル入門	①	五十嵐 一香
スタディースキル入門	②	倉林 さくら
スタディースキル入門	①	真木 健春
スタディースキル入門	②	森川 皓太
スタディースキル入門	①	森田 彩伽
スタディースキル入門	②	米澤 珠巳
スポーツと健康	①	今井 駿
スポーツと健康	①	前田 くるみ
多摩学Ⅰ	①	新井 健太
多摩学Ⅰ	①	大國 心桜
多摩学Ⅰ	①	齊藤 夏美
地域ビジネスプランニング	①	伊藤 将吾
地域ビジネスプランニング	①	山田 ゆい
地域ビジネス入門	①	大谷 奨
地域観光論	①	梶本 凌平
地域観光論	①	佐々口 珠莉
地域産業論	②	白井 ほのか
地域産業論	①	進藤 丈也
中級簿記	①	溝尻 冴夏
中国ビジネスコミュニケーションⅠ	②	田中 千尋
中国ビジネスコミュニケーションⅠ	①	長田 華山
中国経済論	①	内田 慎吾
中国経済論	①	大澤 舜
中国経済論	①	佐久間 心
中国経済論	①	森 稜真
中国語Ⅰ	①	井上 保奈海
中国語Ⅰ	④	久保田 真司
哲学入門	①	川久保 駿
哲学入門	①	東良 紗里
データサイエンスⅢ	③	石川 光一
データベースⅠ	①	嶋山 顕成
データベースⅠ	①	松川 正輝
データ分析実践	②	齊田 百合子
データ分析実践	①	茂木 香樹
TOEICⅠ	①	中川 皓太
TOEICⅠ	①	溝尻 冴夏
特別講座Ⅰ	①	山田 ゆい
日本語講座初級	④	ソグデッド・ダビン
認知心理	①	内田 慎吾
ビジネス数学基礎	①	久保田 涼介
Practical English ConversationⅠ	①	溝尻 冴夏
ブランドマネジメント	①	濱 大貴
ブランドマネジメント	②	間瀬 雅也
プレゼミⅠ	②	荒井 四海
プレゼミⅠ	②	大島 隼人
プレゼミⅠ	②	木村 達朗
プレゼミⅠ	②	佐久間 心
プレゼミⅠ	②	高井 駿
プレゼミⅠX12	②	菅原 侑士
プレゼミⅠY11	②	菅原 侑士
プログラミング入門Ⅰ	①	丸山 将平
マーケティング・リサーチ	①	小林 明日香
マーケティング・リサーチ	①	田中 温人
マーケティングデータ分析	④	石原 混大
マーケティングデータ分析	③	河内 颯斗
ライフ・デザイン	①	小松 優菜
ライフ・デザイン	①	小山 孝実
ライフ・デザイン	②	田中 千尋

2021 年度春学期 成績優秀者奨学金奨学生

学業及び成績が優秀で人物及び健康ともに優れ、他の規範となる学生に対して、多摩大学奨学金規程に基づき審査を経て区分に応じた奨学金を支給しています。

●経営情報学部

■ 1 年次

・区分 1

学生氏名
大國 心桜

■ 2 年次

・区分 1

学生氏名
中村 優貴

■ 3 年次

・区分 1

学生氏名
内田 慎吾

・区分 2

学生氏名
青山 優衣
伊藤 真之介
伊藤 響
大中 貴太郎
河輪 拓樹
草刈 三結
公保 綾太
コウスピョン
小山 孝実
齊藤 夏美
佐川 航太
崎田 信之介
柴田 優吾
清水 千伶那
武井 夕佳
田中 俊太
鳥居 完太
中堤 真

・区分 2

学生氏名
天野 真一朗
天野 由梨
池田 賢吾
伊藤 将吾
奥津 湧貴
尾崎 真由子
添田 鈴香
田中 温人
長田 華山
西潟 沙世
馬場 啓介
廣野 祐太
藤森 龍
松川 正輝
溝尻 冴夏
森 巧光
山田 ゆい
山埜 彦樹
米澤 珠巳

・区分 2

学生氏名
厚母 春花
安藤 麻沙未
伊豆 隆磨
今井 雄基
江成 竜哉
鍋木 海月
嘉山 友萌
河内 颯斗
小林 明日香
佐久間 心
佐々口 珠莉
進藤 丈也
杉立 汐里
鈴木 景喬
中川 大樹
野田 千智
藤田 龍斗
茂木 香樹
吉原 瑠久

●グローバル・スタディーズ学部

■ 1 年次

・区分 1

学生氏名
川本 将史

■ 2 年次

・区分 1

学生氏名
世安 爽愛

■ 3 年次

・区分 1

学生氏名
関口 楓

・区分 2

学生氏名
池田 帆乃佳
石井 羽留
小瀧 倫之
川口 真依
白井 綾音
鈴木 陸斗
先崎 瑛馬
高田 晴高
渡邊 菜花

・区分 2

学生氏名
小野寺 唯
キャノンジャスミン心
京谷 遥
裙澤 幹太
佐藤 祐紀
佐野 磨李
島田 彩音
滝川 夏綺
福島 愛海

・区分 2

学生氏名
小野 凌弥
小山田 桜
下川 真依
ジャーバーアナスター
高橋 ブダチャリヤ志都
土肥 芽生
宮良 あこ
ヨウ エイ
横山 紗弓

※氏名 50 音順

※学年は 2021 年度のものとなります

2021 年度秋季 経営情報学部 卒業のつどい

2021 年 9 月 18 日 (土) 11 時より多摩キャンパス 201 教室にて、「2021 年度秋季 多摩大学経営情報学部 卒業のつどい」を執り行いました。今年度の秋季卒業生は 2 名、式典に出席した卒業生には、杉田文章副学長・経営情報学部長から学位記が授与されました。

杉田副学長は、「入学してから積みあげてきた努力は決して無駄にはならない。自信をもって一步一步進んでほしい。人生を通じて学び続ける姿勢が何よりも大切。今日までに得たものを礎に、これからも努力を積み重ねてください。障壁にぶつかったときには、母校を思い出して戻ってきてください。ともに切り開いていきましょう」とお祝いと励ましのことばを送りました。下井直毅教授は、経済学者ケインズの師であるアルフレッド・マーシャルの言葉を引用し、「困難に立ち向かうときにはクールヘッドとウォームハート。冷静な頭脳と同時に、相手を思いやる温かい心も大切にして取り組んでほしい。これからの幸せを心から祈っています」と祝辞を述べました。卒業生代表のジャン・ミンジェさんは「かけがえのない仲間に出会えたことが一番の喜びです。社会に出てどのような困難が待ち構えていると、多摩大学で養った知恵を活かして歩み続けていこうと思います。適切な助言を与えてくださった先生方、支えてくださった職員の皆様、見守ってくれた家族に感謝をします」とお礼のことばを伝えました。

感染症予防のため、着席のまま学園歌を静聴し、和やかな雰囲気の中で卒業のつどいは終了しました。



学園祭

2021年11月13日(土)・14日(日)の2日間、多摩大学学園祭「多摩祭」(経営情報学部)、「SGS Festa」(グローバルスタディーズ学部)が開催されました。今年も昨年に続き、新型コロナウイルス禍におけるオンライン実施となりました。

経営情報学部

VR空間でつながる新しい形の学園祭

第33回「多摩大学 オンライン学園祭」のテーマは「CONNECT ～地域と仮想空間と社会と～」。ソーシャルVRアプリ「Cluster」を利用して多摩キャンパスに入場し、3DCG空間上でアバターを介して様々なイベントに参加したり、コミュニケーションをとったりします。バーチャル空間で「コネクト」を体験する新しい形の学園祭となりました。13日には多種多様な専門領域を持つ多摩大学教授陣が研究について語る「研究サロン」(研究活性化委員会)、彩藤ゼミと国際交流委員会による「世界民族衣装ファッションショー」、14日には出題された4つのテーマで発表を競う「プレゼン大会」が開催されました。また参加型イベントとして、プレゼミ内の交流を深める「プレゼミ対抗クイズ大会」、『あなたにとってのコネクト』をテーマに2D・3D作品を募集してCluster内の特設会場に展示するコンテスト、彩藤ゼミ企画「洋館シューティング」や「高尾山アスレチック」、「オンライン謎解き脱出ゲーム」、出原ゼミ「バーチャルプラネタリウム」、「タイピングチャンピオン」、「スタンプラリー」、展示型イベントとして、会場内でサークル・部活動、ホームゼミ、国際交流活動(国際交流委員会)を紹介しました。そのほかに自然科学技術サークルの「注目しているITの話題」、音楽連合「音楽連合×Sessionate 合同音楽ライブ」などもあり、細部までつくり込まれた多摩キャンパスのバーチャル空間を視聴者は自由に行き来して学園祭を楽しみました。



多摩祭実行委員の取り組み



プレゼン大会発表会の様子



VR学園祭の様子

グローバルスタディーズ学部

オンラインで発信し視聴者と交流

第15回多摩大学湘南キャンパス学園祭「SGS Festa 2021」のテーマは「Beginning ～ド派手にやっちゃまおうぜ～」。リアルタイムでYouTube配信、Twitter、Instagram、TikTokを通して視聴者と交流し、参加することで元気が出る学園祭を目指しました。昨年に引き続き、学生だけでなく一般の方も参加できる企画も用意し、オンラインならではの楽しみ方、交流の方法を提案しました。13日は「かたこと」「Rhythmic Toy World」による音楽ライブ、「学生団体紹介VTR」、「学部長の部屋」、公開講座「どうということ・どうなる・どうする?地球温暖化」(橋詰博樹特任教授)、学生参加型イベント「SGS No.1 決定戦」(クイズ大会)を開催。14日は「学生団体紹介VTR」、「鬼越トマホーク」「ゆったり感」によるお笑いライブ、公開講座「ワイン用ブドウ新品種メイヴ」(株シヨナ 田中利忠社長)、Study Abroad 報告会などのプログラムを配信。学生参加型イベント「SGS No.1 決定戦」(ギネス記録に挑戦)では、参加者に①1分間にコーヒー豆を何粒お箸でつまめるか ②目隠しをして20枚のコインを貯金箱に入れる秒数 ③1分間でピンポン玉を何個グラスに入れるか、という3つのギネス種目に挑戦してもらいました。また「ビンゴ大会」では、ブランド牛や毛蟹、ハム・ウイナー詰め合わせなどの豪華賞品を提供し、プログラムの最後には花火が打ち上げられ学園祭は盛況のうちに幕を閉じました。PCやスマートフォンなどを使い、様々な場所にいながら、だれでも気軽にイベントを楽しむことができるオンライン学園祭となりました。



学園祭実行委員の取り組み



SGS No.1決定戦(クイズ大会)



配信の様子



2021/11/13,14

経営情報学部

2022年卒の現状から見た2023年卒の就職・採用戦線

2021年10月31日(日)、多摩キャンパス001教室にて、経営情報学部保証人(ご父母)を対象とした2021年度就職セミナー「2022年卒の現状から見た2023年卒の就職・採用戦線」を開催しました。開始前には、キャンパスツアーを実施し、保証人の皆様にキャリア支援課やオンライン選考対応個室BOXなど就職関連の学内施設をご覧いただきました。

就職セミナーでは、はじめに後援会長 椎原恭平氏が挨拶し、杉田文章 副学長・経営情報学部長による多摩大学の就職実績の報告と支援体制の紹介、株式会社文化放送キャリアパートナーズ 就職情報研究所所長の平野恵子氏による講演がありました。

1. 多摩大学の就職実績・就職支援体制について 副学長・経営情報学部長 杉田 文章

「多摩大学には1年次、2年次、3年次におけるキャリア関連カリキュラム、さらに資格支援、教職課程、学習支援室という様々なキャリア支援があり、できることはすべてやろうという気持ちで学生を支援。ゼミ担当教員とキャリア支援課、学生本人の三者連携による体制で就職活動をサポート。オンライン学内合同企業説明会・学内IT業界説明会の実施など大学が組織的に支援しています」。過去5年間の卒業時就職実績、今後の課題と方向性についても説明しました。

2. 2022年卒の現状から見た2023年卒の就職・採用戦線

株式会社文化放送キャリアパートナーズ 就職情報研究所 所長 平野 恵子 氏

平野氏は「大学生から社会人への接続」をテーマに大学低学年から新入社員までの若年層キャリア支援が専門。人事系専門誌や雑誌などのコラムやレポートを執筆。現在は、読売新聞「就活ON!」で相談室コラム、2006年からは複数の大学でキャリア教育科目(正課)を担当しています。講演では、新卒採用市場の現状、リアルな就職活動、新卒採用のオンライン化、その他Topics、保護者の支援について、データを用いて最新状況を交えながら紹介しました。

講演後の質疑応答では、会場から「就活の話題はどの段階で学生に伝えられるのか」「OBOG訪問はあるのか」「大学推薦型のインターンシップとは」などの質問がありました。



キャンパスツアー



杉田副学長・学部長の挨拶



平野恵子氏による講演



会場の様子

グローバルスタディーズ学部

就活支援の現場から見た現在の就活環境とSGSの就活支援

2021年9月25日(土)、湘南キャンパスE301教室にて、グローバルスタディーズ学部「保証人向け就職セミナー」を開催しました。安田震一 副学長・グローバルスタディーズ学部長、堂下恵 就職委員長の挨拶、就職委員およびキャリア支援課職員の紹介の後、キャリアフラッグ株式会社 代表取締役 熊澤匠氏による講演「就活支援の現場から見た現在の就活環境とSGSの就活支援」がありました。

1. 学部長ご挨拶 副学長・グローバルスタディーズ学部長 安田 震一

「就職に関する状況や考え方、アプローチの方法は、私たちの時代とかなり異なってきています。SGSの就職先は観光・ホテル業界が中心、2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響があったものの2022年度以降には回復の兆しが見えます。学生が第一志望に就職できるよう大学は、情報交換をしながらあらゆる方法で支援をしていきます。保護者の皆様には一歩下がって温かく見守っていただければと思います」。

2. 就職委員長ご挨拶 グローバルスタディーズ学部教授・就職委員長 堂下 恵

「昨年度は新型コロナ禍の影響で、学生たちは思うような就職活動ができずストレスがたまっていたようです。就職委員およびキャリア支援課職員が、力を尽くして学生の就活を支援していきます」。

3. 講演「就活支援の現場から見た現在の就活環境とSGSの就活支援」

キャリアフラッグ株式会社 代表取締役 熊澤 匠 氏

熊澤氏は、顧客開拓・人事営業を経験後、年間100回に及ぶ就職セミナーや大学の就職ガイダンスの講師を務め、2010年にキャリアフラッグ株式会社を設立。多くの大学で学内キャリア授業や就活セミナーを企画展開。大学の非常勤職員を務めるなど就業力育成支援事業に携わり、SGSのキャリア支援講座では、表現上の知識や面接対策を指導。今回の講演では、企業の採用現場の動き、SGSの就活支援の特徴について、「①就活環境の急変は? ②就活がうまくいく学生は? ③保護者の心構え」という3つの項目で外部の視点を通じた就活の現状を語っていただきました。



安田副学長・学部長の挨拶



堂下就職委員長の挨拶



就職職員・キャリア支援課職員の紹介



熊澤氏による講演

グローバルスタディーズ学部 シンポジウム「コロナを超えて一神奈川、藤沢の未来構え」

2021年10月4日(月)、藤沢商工会館ミナパークにて、2021年度グローバルスタディーズ学部主催シンポジウム「コロナを超えて一神奈川、藤沢の未来構え」を開催。今年で10回目となるシンポジウムには、鈴木恒夫藤沢市長をはじめ行政関係者や市民などの参加がありました。

開催に際しては感染予防対策として、マスクの着用、受付での手指の消毒、検温、入場者数の制限、会場内では座席の間隔を広げたソーシャルディスタンスの確保などを行いました。

安田震一 副学長・グローバルスタディーズ学部長は、「藤沢市は今年、雲南省昆明市と友好都市提携40周年を迎えます。多摩大学も昆明市の3つの大学と提携し、今年の4月からはオンラインによる文化交流が始まりました。藤沢市のイベントに学生が参加するなど、多摩大学としても藤沢市・湘南全体の活性化に寄与していきたいと考えています」と挨拶。鈴木恒夫藤沢市長は、「藤沢市は藤沢市観光協会、多摩大学と三者連携協定を結んで6年。観光PRのアンケート調査や観光振興計画の見直し、外国観光客向けメニューの作成など多摩大学に協力してもらっています。コロナ禍でみてきた藤沢市の強みと弱みを修正しながら、皆さんの協力のもと進んでいけたらと思っています」と述べました。堂下恵教授は、講演「地域での訪日外国人アンケート調査」で、新型コロナウイルス感染症拡大前後の外国人旅行者数の変化、将来の旅行の見通し、ポストコロナの観光などについて示し、2015年度から公益社団法人藤沢市観光協会と堂下ゼミで年4回実施した江の島外国人観光客実態調査、2021年2月5日から2月21日まで藤沢市観光協会・藤沢市・多摩大学が協力して実施した藤沢インバウンドオンラインアンケートの結果を報告しました。

また、寺島実郎学長は、冒頭でSGSの卒業生が取り組む子ども食堂、寺島文庫が設立した「みねるばの森」基金(子どもの貧困を社会科学的アプローチから分析・解決することが目的)を紹介。基調講演「日本再生への針路」では、資料集『寺島実郎の時代認識2021年秋号』を参照しながら、世界のGDPシェアの推移と日本の割合、日本の貿易相手国のシェア推移、デジタル・トランスフォーメーション、日本の食料自給率などについて、数値やグラフをもとに最新状況を講じました。



安田副学長・学部長の挨拶



鈴木藤沢市長の挨拶



堂下教授の講演



寺島学長による基調講演

企業30社参加

2023年卒生対象「多摩大学 学内業界研究セミナー」

2021年11月6日(土)、多摩キャンパスにて、2023年卒(3年生)約300名を対象とした「多摩大学 学内業界研究セミナー」(主催:多摩大学経営情報学部 就職委員会・協力:大学新聞社)を開催しました。毎年開催される「学内業界研究セミナー」は、3年生にとって就職活動スタートの大切なイベントで、今年度はキャリア・デザインⅣの授業と連動し3年生のほぼ全員が参加しました。今回は、内定実績のある企業、多摩ブルー・グリーン賞受賞企業、多摩地域・神奈川地域企業など30社にご参加いただきました。杉田文章 副学長・経営情報学部長は、参加企業へ感謝の意を伝えるとともに、学生に向けて「自分が何者で何を求めているのかを理解するプロセスの一歩だと思って、今日は取り組んでもらいたい。目の前の企業に熱意を伝えるのだという気持ちで、向き合ってもらいたい。」と就職活動への意識を促しました。企業の皆様は001教室で1社1分間の自社紹介を行い、その後、学内各所に設置した企業ブースで各業界の説明会を実施。スーツ姿の学生たちは、それぞれ事前に選んだ4社をまわり、資料を手にしながら業界や事業内容を熱心に聞いていました。



企業による自社紹介



会場の様子



企業の説明会に参加する学生たち

リレー講座と経営情報学部 梅澤佳子ゼミが「小さな親切」実行章を受章

2021年10月7日、多摩大学 寺島実郎監修リレー講座と経営情報学部 梅澤佳子ゼミが、公益社団法人「小さな親切」運動本部（所在地：東京都千代田区、代表：鈴木恒夫氏（元文部科学大臣））から「小さな親切」実行章を受章しました。

リレー講座は、高齢社会を見据え地域に根差した取り組みを長年にわたり実践していると評価され、受章式は2021年秋学期リレー講座第1回講義に先立ち行われました。鈴木恒夫代表からは、ご挨拶とともに寺島学長に対し表彰状が手渡されました。

梅澤ゼミは、社会学を学び、地域課題に取り組む活動を継続的に行い、積極的な社会貢献活動を行っていることが評価されました。贈呈式では受章したプロジェクトの1つである「世代間交流八王子駅前サロプロジェクト」の活動について学生から報告があり、城南信用金庫 川本恭治理事長、連携団体の方からお祝いのお言葉を頂戴しました。

なお梅澤ゼミへの贈呈式には、城南信用金庫 川本恭治理事長、「小さな親切」運動本部事務局、損保ジャパン株式会社、多摩市立聖ヶ丘コミュニティセンター運営協議会、多世代交流みんなの食卓プロジェクト、元八王子市民生委員・児童委員協議会、大学コンソーシアム八王子事務局など関係者の方々と梅澤佳子ゼミの学生をあわせて35名が参加しました。



鈴木代表から実行章を贈呈される寺島学長



秋学期第1回リレー講座の様子

「小さな親切」実行章とは

1963年、人と人をつなぐ思いやりの心を育もうと「小さな親切」運動はスタートしました。以来、心を育てる各種実践活動に取り組みながら、日本中に親切を広げようと半世紀を超えて運動を推進しています。「小さな親切」実行章は、親切行為をした個人や団体を感謝の気持ちを込めて表彰する取り組みです。



「小さな親切」実行章 表彰状



梅澤ゼミ学生と教員、関係者の皆様

日本経済新聞社「日経グローバル」特集記事「大学の地域貢献度調査」で多摩大学が上位にランクイン

日本経済新聞社「日経グローバル」（2021年10月4日発行）の特集記事「大学の地域貢献度調査」の結果が発表され、多摩大学が下記項目で上位にランクインしました。

- 「組織・制度」分野：「24位」
地域貢献の推進に向けた組織・制度面の取り組み
- 地元就職者率の高い大学：「17位」
（地元は本部やキャンパスがある都道府県）
- 都道府県別総合得点ランキング：「87位 / 154位（2019年度）」

同調査は、日経リサーチを通じて2021年7月から9月まで、国立79、公立73、私立362の合計514大学を対象に、大学が地域社会にどのような貢献をしているのか「地域貢献度」を探るための調査として実施されました。調査内容は、大学の「組織・制度」「学生・住民」「企業・行政」「働く場」「SDGs・コロナ対応」の5分野と「その他」に関する設問で構成されています。



多摩地域の企業と多摩大学

「多摩ブルー・グリーン倶楽部 経営研究交流会」開催

第2回研究会

2021年9月16日(木) 多摩信用金庫および多摩ブルー・グリーン倶楽部会員企業10社にお集まりいただき、「多摩ブルー・グリーン倶楽部 経営研究交流会」を開催いたしました。

2回目の今回は、「学生から見たインターンシップ」をテーマとし、5人の学生(今夏、多摩ブルー・グリーン企業でインターンシップをさせて頂いた4名の3年生および数々のインターンシップを経験した後、内定を得た4年生)と教員によるパネルディスカッションからスタートしました。

学生からは、インターンシップ経験について「実際に現場や社員の方々の様子を見ることができ有意義だった」「HPでは分からないことを体感できた」等の発言があり、企業からは「学生の提案が採用された事例があった」「インターン生を受け入れたことが社員の成長に繋がった」等、本学にとっては非常に有難いコメントを頂きました。

総括として、浜田正幸教授より「良いインターンシップは、企業、学生、社会にとって有益なものである」「企業様は、手加減せず学生に向き合ってほしい」との意見が述べられました。

その後、4グループに分かれて、企業、学生、教職員で「どのようなインターンシップが効果的か」に関して意見交換をし、各グループの発表を経て、閉会となりました。第1回同様、終始和やかで、活発な議論がなされた交流会となりました。



グループ毎のディスカッション



各グループによる発表



学生パネルディスカッション

第3回研究会

11月18日(木)には多摩信用金庫および多摩ブルー・グリーン倶楽部会員企業9社にお集まりいただき、「新たなインターンシッププログラム」をテーマにした、第3回「多摩ブルー・グリーン倶楽部 経営研究交流会」を開催しました。

杉田副学長による開会の挨拶後、株式会社ツインキールズ様、株式会社アスペクト様、株式会社シーズプレイス様に、これまでのインターンシップへの取組や今後のプログラム提案を発表して頂きました。

各発表後には、会員企業にてインターンシップを経験させて頂いた学生や教員から活発な意見が出され、総括として、浜田正幸教授から、より良いインターンシップのために、「直球勝負で学生に向き合ってほしい」「アウトプットが重要である」「学生には正直なフィードバックを」との意見が述べられました。

最後に、多摩ブルー・グリーン倶楽部 会長 上野邦香様より、「一歩踏み出すこと、改善・継続が大切である」とのお言葉を頂き、閉会いたしました。

本交流会は、第1回(7月8日(木)開催:キックオフとして就活・インターンシップの現状を共有)、第2回(9月16日(木)開催:「学生から見たインターンシップ」をテーマとしたディスカッション)を経て、今回が今年度の最終回となります。

次年度は、3回の交流会で得られた知見を踏まえて、企業、学生ともに高い満足が得られるインターンシップの姿を探っていきます。ご協力頂きました企業の皆様に、改めて御礼を申し上げます。



研究会の様子



質疑応答



集合写真